

## 指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和2年度分）

施設	名称	栃木市都賀地域活動支援センター
	所在地	栃木市都賀町家中2357番地15
	施設内容	障がい者支援施設
指定管理者	名称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	・地域推進事業 ・介護保険事業 ・障害者総合支援に基づく事業

## (1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	施設利用者の面接	年3回(支援計画作成時)	年3回(支援計画作成時)
	施設内研修会	2回以上	2回
	施設送迎	1日2回	1日2回
	利用者満足度	80%以上	85.70%
	苦情申し立て対応件数	0件	0件

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20

指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営規程において基本方針が明文化され内部研修会に参加しました。</li> <li>・法令を厳守し、常に施設利用の利便性、平等性に努めました。</li> <li>・利用者が安全に通所できるよう、1日2回の送迎を実施しました。</li> <li>・年1回のアンケートを実施し回収率100%・満足度85.7%を得られました。アンケートの結果をふまえ、利用者へのより良い支援を心掛けます。</li> <li>・利用者や保護者の希望により面談・面接を随時行っています。また当センターではご利用相談窓口を設置しております。</li> </ul>
-----------	--

施設所管課コメント	<p>利用者の送迎は事業所の努力によるもので、通所のしやすさや家族の負担の軽減に繋がっていると思われる。</p> <p>施設内研修会を計画どおりに行っていることは評価できる。</p> <p>アンケートなど利用者や家族からの意見やニーズを把握し、満足度は計画値を上回り前年の値を維持しているが、引き続き随時の面談・面接や相談窓口をとおしてより高い満足度が継続して得られるよう検討されたい。</p>
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	開所日数			243日	243日		
	広報誌掲載			2回以上	4回		
	イベント参加数			2回以上	0回		
	合同訓練事業数			3回	0回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間243日予定通り開所することが出来ました。</li> <li>・利用者の増加に向けた広報活動（ふくびーだより）に施設の記事を掲載しました。</li> <li>・コロナ感染拡大防止の観点からイベント参加・合同訓練事業は中止しましたが、やむ得ない事情と捉え評価から除外させていただきました。</li> </ul>						
施設所管課コメント	<p>コロナ禍においても年間行事を計画通りに実施していることは評価できる。          コロナ禍でイベント参加や合同訓練が実施できなかったことは致し方ないものとする。状況が改善された際には、再開していただきたい。          広報紙への掲載は地域に密着した活動をとおして障がい者への理解を深める啓発に寄与するものとして評価したい。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	グリーンカーテン作り		2ヶ所(南・東側)		3ヶ所(南・東側)		
	施設内クリーン活動等		2回		3回		
	本代等の経費削減		図書館利用		図書館利用		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	I	1.0	15
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受託金は会計基準に基づき本会予算に計上し、適切に処理しました。また事業終了にあたっては監査を経て理事会・評議員会で承認されました。</li> <li>・物品等の購入は無駄を省き、必要最低限に努めるなどサービス低下に繋がらない範囲内で経費削減に心がけました。</li> <li>・清掃は可能な限り職員が対応し、年3回利用者と一緒に施設内クリーン活動を行いました。</li> <li>・再生紙使用やミスコピーを再利用・窓際にグリーンカーテンを作り、節電に心がけました。</li> <li>・本代等、経費削減の為、図書館を利用しました。</li> </ul>						
施設所管課コメント	<p>利用者と一緒に清掃活動を行うことや窓際のグリーンカーテンを作ることを計画より多く実施し、節電し施設管理していることは良い取り組みである。また、事業計画に支障のない範囲で経費削減が行われており、更なる創意工夫に取り組まれない。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	管理運営			管理者1名	管理者1名		
	職員配置			指導員2名	指導員2名		
	研修会参加			2回以上	8回		
	各種税金や社会保険料納付			期限内	期限内		
	勤務時間(1人当たり)			1日7.75時間	1日7.75時間		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会会計部署と連携を図りながら体制を整えて管理運営しました。また管理者1名、常勤指導員2名、計3名を配置いたしました。</li> <li>・各種研修会に積極的に参加しました。栃木県社協主催「指導監督職員研修」「口腔ケア」他</li> <li>・源泉所得税や消費税、社会保険料は適切に納めました。</li> </ul>						
施設所管課コメント	<p>職員の人員配置は適正に対応している。 職員研修は計画値を大幅に上回る参加をしており、障がい者を支援するうえで必要なスキルを習得する努力をしていることは評価できる。学んだ研修内容を今後の利用者への支援に活かされたい。</p> <p>団体の経常収支比率が95.3%で昨年度から3.2ポイント上昇しているが、100%を超えられるよう団体の更なる健全な経営に努められたい。</p>						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	防災マニュアル等の見直し		1回		1回		
	消防用設備点検		年2回		年2回		
	消防訓練実施		2回		2回		
	個人情報の保持・守秘義務の徹底		職員会議毎回		職員会議毎回		
	事故発生件数		0件		0件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策の為に戸締りや火の元などの自主点検を毎日行い、防火管理者に提出しています。</li> <li>・勤務時間以外の職員不在時は警備業者に委託して警備システムによる警備を行い緊急時には緊急連絡先に連絡が入る体制になっています。</li> <li>また、保護者の同意を得て緊急連絡先の情報を記載した名簿を作成し緊急時に備えています。</li> <li>・防火管理マニュアルに基づき、地震・火災時に利用者の安全を確保するため、総合避難訓練を年に2回実施し、そのうちの1回は水害に備えた、水害時対応訓練を合わせて行いました。</li> <li>・個人情報保護に関しては利用者情報の守秘義務の徹底に努め、書類に関しては警備保障の入った事務室内、鍵つきロッカー等に保管しています。</li> </ul>						
施設所管課コメント	<p>毎日の自主点検や、災害に備えた総合避難訓練の実施・緊急連絡網の作成など適正に利用者の安全確保がなされていることから事故発生件数が0件となっている。</p> <p>また、個人情報の取扱いや守秘義務の徹底もされている。</p>						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	20	19.4
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	12	12	12.0
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	13.3
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	16	14.9
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	16	12	13.9
評価点合計	100	79	75	73.5
総合評価		B	B	B

### 第3次評価（選定委員会評価）

選定委員会コメント

【平等利用の確保とサービス向上の取組み】

- ・適切な評価が可能な評価指標及び計画値の設定に心掛けられたい。
- ・この施設を必要とする方に、施設の存在が伝わるよう周知に努められたい。

【施設経費の削減の取組み】

- ・適切な評価が可能な評価指標及び計画値の設定に心掛けられたい

【施設の安全対策、危機管理体制の取組み】

- ・施設の老朽化が進んでいることや、バリアフリーではない箇所も見受けられたことから、更なる安全な管理運営に取り組まれたい。

【その他】

- ・他施設との連携や送迎バスの充実等により、施設建替え時に統廃合を検討していただきたい。
- ・現在の施設規模では、これ以上のサービスは難しいと考える。
- ・指定管理者の管理状況は一定の評価が出来るが、施設のあり方を検討する時期にきている。
- ・今までのやり方を検討する姿勢を持って取り組まれたい。
- ・使用している数値等が資料間で相違していたことから、適正な事務処理を心掛けられたい。

## (4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

## ⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期
資産総額	1,991,989,007	1,970,659,890	1,906,373,137
売上高	897,769,372	878,123,933	873,947,307
経常利益	△ 107,467,321	△ 75,756,815	△ 43,364,759
当期利益	△ 108,867,554	△ 75,042,296	△ 44,559,167
経常収支比率	89.3%	92.1%	95.3%

## ※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期
経常費用	1,008,336,278	957,211,747	919,267,844
経常収益	900,868,957	881,454,932	875,903,085
経常収支比率	89.34%	92.09%	95.28%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

## 指定管理者コメント

令和2年度における本会全体の財務状況は、介護保険事業収益や障害福祉サービス等事業収益の減により経常収益が減少しましたが、人件費や事業費を抑えることができたため、前年度より赤字幅を少なくすることができました。繰越金があることから組織全体の運営に支障はありませんが、安定した基盤づくりのため、今後も健全な経営に努めていきます。